

神戸市外国語大学魅力発信事業 2021

神戸市外国語大学魅力発信事業とは

市民向けのセミナー、ボランティアなどの地域貢献や国際交流活動、小中高における外国語教育や国際理解教育へのサポートなどの学生、教員が行う様々な有意義な活動について、さらなる発展・拡充を図り、広く社会に魅力を発信するため本学が支援を行っている事業です。

昨年からは、コロナ禍で色々な行動が規制されるなか、学生をはじめ、一般の方にも広く新しい学びと暮らしを共に考える場を作ろうと英米学科の難波江仁美教授が企画し、オンラインでの講演会を開催しています。

今年度は「**神戸発！音・声・ことば—新たなつながりを求めて—**」と題した全6回の講演会で、BBプラザ美術館（神戸市東灘区）の「ジャック・ケルアックビートジェネレーションとオンザロード～書物から見るカウンターカルチャーの系譜」展と絡めた第1部と、宮澤賢治生誕125周年を記念した『イーハトーブ』をここに—古から未来へのメッセージ—の第2部の2部制での構成となっています。

第1部の講演会では、6月には北欧音楽プロデューサーの小巖仰さんに、「北欧の夏至や北欧の音楽」についてのお話を、7月は「旅と物語」をテーマに本学の客員教員で翻訳家の柴田元幸さんと絵本作家のきたむらさとしさんのそれぞれの視点からの旅や物語について語っていただきました。



そして第1部のメインとも言える、渋谷の古書店Flying Books 店主・アーキビストの山路和広さんの講演会では、展覧会にも出品した貴重な古書を中心にケルアックをはじめとするカウンターカルチャーについてお話いただき、8月の講演会では、学生たちがウッドベースに合わせて詩を生で朗読する「ポエトリーリーディング」を行うなど、ライブ感のある演出で会場を魅了しました。

視聴者からは、「今まで知らなかった分野を知ることができて新鮮だった」、「学生たちがそれぞれの言語を使ってイキイキと詩のパフォーマンスをして素晴らしい」という嬉しい感想を多数いただきました。

無料のオンラインの講演会ですので、みなさんもぜひご参加ください。



今後の予定

第2部 「イーハトーブ」をここに —古から未来へのメッセージ— 後援：岩手日報社

第1回 11月3日(水曜・祝日) 14時～15時30分

Kawole氏 (歌手)

「顔なき声のうた—生命の響きに耳をすまして」

第2回 11月22日(月曜) 14時25分～15時55分

宮澤和樹氏・やよい氏・香帆氏

「イーハトーブをここに：宮澤賢治生誕125年記念講演」

すべてオンライン・ライブ配信です。

QRコードより申込みフォームにご記入いただき、ご希望の講演の視聴をお申し込みください。
(学生、教職員にはGAIDAI PASSから動画の視聴URLを配信しておりますので申し込みは不要です。)
なお、動画の視聴方法については、お申し込み完了後にメールでお知らせいたします。



本学教員の出版物紹介

【教員名】 長沼美香子 教授(英米学科)

【書名】 번역된 근대 : 문부성 「백과전서」의 번역학 / 나가누마 미카코 지음 ; 김도형, 김태진, 박삼현, 박은영 옮김
「訳された近代」韓国語訳

【出版社】 成均館大學校出版部

【出版年】 2021.2

【種別】 単著

【教員名】 長沼美香子 教授(英米学科)

【書名】 特集 にほんてき、ってなんだ? (tattva vol.2)

【出版社】 ブートレグ

【出版年】 2021.7

【種別】 共著

【教員名】 野村竜仁 教授(イスパニア学科)

【書名】 永遠の家

【出版社】 書肆侃侃房

【出版年】 2021.7

【種別】 共訳
木村榮一名誉教授と共訳

